



交通安全だより

第81号 平成25年10月発行 札幌市交通安全運動推進委員会 Tel.211-2268

札幌市の交通安全 <http://www.city.sapporo.jp/kotsuanzen/>



秋の交通安全運動へのご協力ありがとうございました

9月21日(土)～9月30日(月)の日程で秋の全国交通安全運動が行われ、以下の項目を重点に各区で様々な交通安全への取り組みが行われました。



飲酒運転の根絶



夜光反射材の配布

子どもと高齢者の事故防止



1日警察署長(元ファイターズ金村隼さん)によるドライバーへの声かけ



夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止

全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

交通安全運動期間中の交通死亡事故は**2件2人**。死亡事故の無かった前年同期に比べ2人増加という、大変残念な結果に終わりました。

これからは、日没も早まり、夕方から夜間にかけての交通事故の発生が懸念されますので、「早めのライト点灯」、「夜光反射材の着用」などを心がけましょう。

9月中に7件7人の死亡事故が発生

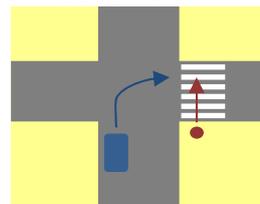
札幌市内において、交通安全運動期間を含む9月中に7件7人の死亡事故が発生しました。月別での死者数が7人以上というのは平成22年8月以降、約3年ぶりの深刻な状況です。今一度交通安全について考え、交通事故防止に努めていただきますようお願い致します。

右折事故 5件 / 7件中

主な要因は「安全不確認」

- 注意が前方の対向車線に向けられるため、自転車や歩行者への注意が疎かになる。
- 特に夜間は同方向からの自転車、歩行者を見落としやすい。

同方向からの横断



—事故を防ぐために—

- ⇒対向車が見えにくい状況では、必ず一旦停止し、焦らず確実に安全確認をしましょう。
- ⇒対向車を発見したら、無理せず通過するまで待ちましょう。
- ⇒右折開始前に右折先の安全を確認し、十分減速して進みましょう。

二輪車事故 3件 / 7件中

主な要因は「発見の遅れ」

- バイクは建物や車などの陰に隠れてしまって、発見しにくく、見落としやすい。

—事故を防ぐために—

- ⇒右折や交差点通過の際には、車の陰や路肩から進行してくる二輪車にも注意し、確実に安全確認をしてから進みましょう。

事故を起こしてしまったら
直ちに負傷者の救護⁺に努めましょう



車両等運転者は

- 1 直ちに車両等の運転を停止して、
- 2 負傷者を救護し、
- 3 事故の続発を防ぐため車両や負傷者などの移動等の措置を講じなければならない。

上記の救護措置を講じた後、警察に交通事故が発生した日時、場所、死傷者の数等を報告しなければいけません。

家族にとっていちばん嬉しいお土産は無事故です。